

2013 年度 専門特殊研究
言語社会心理学研究方法論 II：木曜日 5 限 (407)

担当教員：宇佐美まゆみ
研究室：740 室

授業の目標

社会における人間の行動を、主に言語使用の分析を通して解明しようとする「言語社会心理学」が依拠する研究方法論を踏まえた論文を執筆する。

授業の概要

各人の論文の進捗状況の発表やそれについての討議、及び、論文執筆指導が中心になる。

授業の計画

受講生の発表を中心に討議しながら、以下の内容を織り込んでいく。

受講者の修士論文の進捗状況の発表

それについての質疑応答、討議

研究方法論に関するレポートの提出

研究方法論ハンドブックの内容のまとめと修正

論文作成上の注意のまとめ

論文における表現の推敲

修士論文の中間報告レポートの提出

第 1 回 導入授業

第 2 回 受講生の予備・本研究の中間発表と討論 1

第 3 回 受講生の予備・本研究の中間発表と討論 2

第 4 回 受講生の予備・本研究の中間発表と討論 3

第 5 回 受講生の予備・本研究の中間発表と討論 4

第 6 回 受講生の本研究の中間発表 1 と討論 1

第 7 回 受講生の本研究の中間発表 1 と討論 2

第 8 回 受講生の本研究の中間発表 1 と討論 3

第 9 回 受講生の本研究の中間発表 1 と討論 4

第 10 回 受講生の本研究の中間発表 2 と討論 1

第 11 回 受講生の本研究の中間発表 2 と討論 2

第12回 受講生の本研究の中間発表2と討論3

第13回 受講生の本研究の中間発表2と討論4

第14回 受講生全員の本研究の中間発表会1

第15回 受講生全員の本研究の中間発表会2

成績の評価

テーマ設定から、研究デザインの工夫、データ収集、処理、分析、解釈までの内容、方法、進め方のプロセスの妥当性、合理性と、授業への参加態度、発表、小課題、最終レポートなどによって、総合的に評価する。